

令和4年3月4日 「建築研究所講演会」の開催

(問い合わせ先)

企画部企画調査課 石塚 正士

Tel 029-879-0632

E-mail ishizuka@kenken.go.jp

令和3年度建築研究所講演会

目的

建築研究所講演会は、年に一度(毎年3月)、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

日程

開催日時	令和4年3月4日(金)13時00分～17時40分(開場12時30分予定)
開催場所	有楽町朝日ホール(東京・有楽町マリオン11階)
特別講演	「温故知新と転禍為福で大震災を乗り越え未来の夢を描く」(仮題) 福和 伸夫 氏 名古屋大学減災連携研究センター教授
一般講演	7課題
その他	入場無料(要事前登録、座席指定制) ※ライブ配信も予定

※ 講演会の詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページで御案内します。

※ 入場定員制限や入場時検温など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、会場開催を予定しておりますが、政府の方針等によっては急遽中止又はライブ配信のみとなる場合がございます。

2



特別講演

名古屋大学減災連携研究センター教授の福和 伸夫氏をお迎えし、「温故知新と転禍為福で大震災を乗り越え未来の夢を描く」について御講演いただきます。

福和 伸夫 教授のプロフィール



1981年に清水建設に入社。1991年に名古屋大学に異動。工学部建築学科、先端技術共同研究センター、環境学研究所を経て、2012年より名古屋大学減災連携研究センター。2017年～2018年に日本地震工学会長、2017年よりあいち・なごや強靱化共創センター長、2020年より中部防災推進ネットワーク・会長等を歴任。専門分野は、地震工学。

産官学民の連携を図りつつ、災害被害軽減の国民運動作りに関わると共に、南海トラフ地震対策を主導。

2003年日本建築学会賞、2007年文部科学大臣表彰科学技術賞、2019年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。

主な著書に「必ず来る震災で日本を終わらせないために」（時事通信社）など。

建築研究所の研究者による一般講演

建築研究所が取り組んでいる建築・住宅・都市分野の研究課題を中心に、最新情報を御紹介いたします。

1	非住宅建築物における外皮性能による温熱環境を考慮した空調エネルギー評価に関する取り組み	環境研究グループ 主任研究員 赤嶺 嘉彦
2	東日本大震災及び以降の災害における応急仮設住宅と災害公営住宅の特徴(仮題)	住宅・都市研究グループ 上席研究員 米野 史健
3	軽量鉄骨下地による非構造部材の耐震性等に関する建築研究所の最近の取組み	建築生産研究グループ 研究員 沖 佑典
4	スラブ内地震, 海溝型巨大地震とスロー地震(仮題)	国際地震工学センター 主任研究員 北 佐枝子
5	2016年熊本地震による益城町の木造住宅倒壊分布に関する地盤要因の可能性	構造研究グループ 上席研究員 新井 洋
6	木造による10階建て復興住宅の構造試設計	材料研究グループ 上席研究員 樋本 敬大
7	「新耐震設計法」から40年を振り返る	構造研究グループ グループ長 小山 信

パネル展示

1	ディープラーニングによる鉄骨造柱脚部と定着部の被災度区分に関する検討	構造研究グループ 上席研究員 森田 高市
2	機械学習を用いた重量床衝撃音低減量レベルの読み替え	環境研究グループ 研究員 平川 侑
3	実大火災実験棟整備概要紹介	防火研究グループ 主任研究員 出口 嘉一
4	ドローンを活用した各種建物調査技術の開発と社会実装への取組	材料研究グループ 主任研究員 宮内 博之
5	木造住宅の力学性能に着目した地震後の継続使用性に関する検討	材料研究グループ 主任研究員 山崎 義弘
6	居住者の住居費負担能力に関する研究	住宅・都市研究グループ 研究員 今野 彬徳
7	強震観測記録に基づく鉄骨造超高層建築物の振動特性の推定に関する検討(仮)	国際地震工学センター 主任研究員 中川 博人